

2000年に沖縄サミットがある年に大分県で捕まったんですよね
で大分県で捕まって警察署に2年間半くらいいて
で詐欺事件って大変捜査が難しくって
2003年にまあ、判決降りて岐阜刑務所に入ったんですけど
岐阜刑務所に行って
その時点で更生する気はなかったんですけど
する気もなく、けどなんか
どういう心境だろうね
人に迷惑かけたのも事実だし
そういうのもお詫びの手紙を出し始めたんですよ
で初めに中学校の時に困らせた先生にね
もう関係ないじゃん、今
裁判中に謝罪文を送ったりしたら、なんか刑が短くなるような狙いがあるから
そういう意味じゃ裁判中にはやりたくなかったんですよね
で裁判終わって、刑が確定して刑務所行ってから
お世話になった、その面倒掛けた大人たちに謝罪文を送って
で被害者に謝罪文を送って
でそういうのを弁護士通してやったりしてたんですよね
自分がこれから13年間刑務所ってところで過ごすわけだから
変化するだろうって、良い方も悪い方も
良い方は真面目になるかもしれないし
悪い方だと、知能数高い方だから
元犯罪のプロフェッショナル達と一緒に
13年学んで (聞き手以下省略)
そう、こう学んじゃうわけだから
だからどっちに転ぶか分かんなかったんですけど
せめて今の状態を、自分なりに記録しようと思って書き始めたんですよ
でその謝罪文を送ってるうちに
「汪君って結構文章力あるね」とか言われたり
例えば「甥っ子が最近捕まって」って
捕まったっていうか警官にね、補導されて
「どうしたらいいか？」とかみたいな相談が色々来るようになって
その手紙やり取りしてるうちに
今度「こういう本を読んで、面白かったから汪さん読んでみる？」って送ってくれるよう
になったりして
そこですごいなんか、まあ今で言う文通ね

と本を差入れしてもらって、すごい社会と接点できて
嬉しいじゃない
であんだけ憎んでた社会が
まあ普通の日本人とあんま接点がなかったから
いじめてくる、なんかやつと喧嘩してたら
暴走族、ヤンキーとかと喧嘩するようになって、それが友達になって
その頃の自分もどっぷりヤンキーになっちゃって
でマフィアになったり、怒羅権もマフィア化したり
自分もヤクザになったりして
普通の一般人と接点がなかったんですけど
なんだろうね、皮肉にも刑務所に入ってから真面目な人と接点できて
で本を送ってくださった御礼じゃないですけど
ちゃんと読みました的な、読書感想文を送り返してたら
それが面白くてさらに送ってくれる人がいて
それを通じて自分の反社会性が、日本社会に対する恨みつらみが少しずつ取れたみたいで
だけど悔しいじゃないですか、刑務所に入って
なんか反省するふりしなきゃいけないとか
「俺はそんなの関係ねえよ」って
「出たらその日考えればいいよ」みたいに考えてて
だから中にいる時に反省して「もう悪い事しません」って一回も書かなかったんですよ
だから刑務所の中でも、模範囚の真逆で
懲罰ばかり、喧嘩に明け暮れてたんですよ
だけどやっぱり人に迷惑かけたのは良くないし
職業として犯罪やってたけど
まあ、子供にも言えない職業だし
まあ、飲み屋に行って「お仕事何ですか？」って聞かれて
まあ、詐欺とか言えないし
だからそういう自分の人生にちょっと疑問を持って、今までの人生ね
で考えて出所してからいわゆる真面目になったんですけど
だけど酒飲んだら暴れるとか
喧嘩売られたら、喧嘩するし
結構ねしょっちゅう喧嘩してたの

刑務所にいる人にとって、読書とは何かって
まあ、今連載もやってるんですけど
集団生活が基本だから

何畳だろう... 6人でスペース的に1人1畳半だから
9畳の部屋に6人で生活して
自分がいた頃は、日本過剰収容の時で
収容率が120何%超えたんですよ
だから、6人部屋に9人寝てたんですよ
こんなになってその岐阜刑務所？
岐阜刑務所、全国の刑務所そうだったの
でその時に普通にこういう風に会話すると意見の対立、絶対出るんですよ
であんな狭いところ、ストレス溜まるから
くだらないことで喧嘩するんですよ
刑務所に目玉焼き出ないんですよ
まあ場所によるけど
そのシャバの生活の話してても
「目玉焼きうまいね、食べたい」みたいな話したら
「うまいね」って「俺さ」って
「ソースの方が一番うまいと思うよ」って言ったら
こっちは「醤油だ」こっちは話して
「いや、胡椒だろ！」って、それだけで喧嘩しちゃうんですよ
あーストレス溜まって狭いし
そう、狭いののストレスで
でそれを、じゃあ喧嘩を避けるにはどうしたらいいかっていうのは
できるだけ人と喋らない
何もしないでいると「あれ？ 汪さんどうした？」
「汪さんどうだったの？ シャバで卵焼きどうやって食べたの？」って話しかけられるから
だからその防衛策として、何か本を見つけて
本を読むふりで、読んで
そしたらなんか「話しかけちゃまずいね」って「悪いね」みたいな雰囲気を醸し出すと
だからみんな真面目にやりたいっていうか
煩わしいって思う人間はみんな読書するんですよ
あーそうなんですよ、それで3000冊も
そうそうそう
で自分も結構恵まれてて、本を差し入れしてくれる人もいて
まあ、それで自分変わったんですけど
同じ受刑者で家族も誰もいない人もいるから
その為に刑務所に備え付けの官本って本あるんですけど
めっちゃ古いんですよ、古典文学みたいな

あーもう誰も...

川端康成とか

あんまり読む人いないような

いないですね

そうすると今流行りの、今の本をベストセラー読みたい

だと買わなきゃいけない、でも買うお金がないみたいな

それを見てきて、ちょっとね

こっちが読書、本を提供できればその人は少なくとも

暇つぶしになるし、喧嘩に巻き込まれないわけだから

喧嘩に巻き込まれないっていうことは、模範囚になれる可能性があつて

早く出れるかも少し

早く出れる

早く出れば、そんだけ周りに気を使って喧嘩を避けるくらいの

心も心を持てばシャバに出ても、犯罪に関わらないだろうっていうのはやっぱり見てきたから

それを一生懸命今、本を、読書の機会を提供してます

面白いですよ

その文章を書いているうちに、今度市民団体の会報が機関誌で連載してみませんか？っていう話が来て

でそこで連載っていうか「自分がこの本読みました」って「今社会に対してこの見方」って書いてるうちに

その会報を見て支援者がすごい増えたんですよ

で自分が日本に来ていじめを受けたりして

まあ、嫌な時代を過ごしたんですけど

実は日本人と接点あんまなくて、もう学校嫌で不登校でやめちゃったから

で暴走族になって、ヤクザになって、マフィアになってっていう道で

だから裏社会の人間と接点はあるけど

一般に働いてる人とほとんど接点なくて

それが刑務所で読書を通じて、真面目な人と繋がって

社会に対しての見方がどんどん変わってくるんですよ

社会にこういう問題あつて、実は世の中っていじめの問題だけじゃなくっていろんな問題あるんですよ

障害者がどうのこうのとか、ホームレスがどうのこうのとか

それは全部読書と支援者との手紙のやり取りで分かったんですよ

だけど悔しいじゃないですか、刑務所で捕まったから懲りたからもう足洗って真面目にやりますのは嫌だからだから刑務所にいるうちに支援者、家族に出す手紙の中に1つも「構成します」「真面目に働きます」って言わなかったんですよ

でそんなのやってて、刑務所めでたく出所したらそれまで支援してくれた弁護士の先生が「これからどうするんですか？」って「働く気ありますか？」って「刑を服役終えて、これからどう生きるんだっていうのは自分で考えるんだよ」って言われて

まあ考えたら「働くだけじゃ嫌です」って先生に言ったら「それだったら自分がね、いじめを受けたとか社会でこういう問題があったとか」「問題定義したかもしれないけど、解決はしてないね」って「今も同じ被害にあわれてる人いるよ」って「で君ならできるんじゃない？」って言われて「あ、じゃあボランティアやってみようかな」って

いろんな問題に関われるし、見れるし

でそれを見る事で自分の問題と距離を測れて

かわいそうな自分だけじゃないっていう気持ちにね

まあボランティアやれば「ありがとう」って言われるしみたいな

そんな簡単な気持ちでホームレス支援とか、中国残留孤児の問題とかあと精神疾患とか身体的なハンデある人とかと関わったりしてそれをやってたら今度また先生に厳しく言われまして「ボランティアやるのはいいんだけど、君自身は何したいの？」って

まあ残留孤児として日本に来ていじめを受けたりして、まあそっちは深刻だったんですけど

実は今残留孤児の問題はそんなに深刻ではないんですよ、その時期が少し過ぎちゃってでやっぱり自分が13年間刑務所にいて、いろんなかわいそうな人見てきたんですよ

ちょっと精神面に問題があって刑事責任がないような人もいっぱいいて

でおじいちゃんが無期懲役囚で中で死んでいくだけで

やっぱ殺人とか強盗、強姦とかそういう重い刑の長期刑のおじいちゃんたちがどんどん死んでいくんですよ

その犯罪をすることによって家族と疎遠になるんですよ、村八分にされるから

そうすると身寄りもない状態で、ただ刑務所の中で死んだロボットのような起きて、飯食って、働いて、時間になったらチャイム鳴って寝るっていうのを「あれ、人間としてどうだろうな」と思って

このまま、自分もそうですけど

このまま犯罪者のレッテルで終われば、自分は本当に犯罪者で一生終わるんですよね
でそういうおじいちゃん達をもう一回、その過去のことをね思い返してもらって
でだけど自分がなりたかった人間ってあるじゃないですか
まあ立派な警察官になりたいって人もいれば
まあいいパパになりたいって人もいて
それを思い出してもらって、人格形成をもう一回したらいいじゃんって
で環境が刑務所にいようが、シャバにいようが、ラーメン屋で働こうが
要はその相手とどう接するかで自分の人格は決まるわけだから
「今無期だから」「今犯罪者だから」「刑務にいるから」って諦めることなく
なりたい自分になればいいじゃんと思って
そのきっかけを作ればいいと思って、更正支援始めようと思ったんですよ
でいざ更正支援始まったら、会員さんがいないんですよね
どこに誰が入ってるかって言うのはやっぱり公開されてないから
それで刑務所に行く人間はまず裁判受けて、実刑判決を受けるから
だから裁判所に行って、毎日聞いて
で写真とかダメだから、今日の公判予定みたいなの名前控えてきて、書いてきて
まあどうせ裁判受ける人は拘置所とかにいたり、そっちの率が高いと思って
ダイレクトメール的なハガキを送ったらすごい返信率が低くて
それで「あ、そうだよ」って裁判受けたから、有罪判決とは限らないし
実刑判決とは限らないから、支援したいけど接点がない
だけど自分が行った刑務所で知り合った人は
日本の刑務所のルールでは同じ刑務所にいた人と連絡取っちゃダメ
で前科ある人と手紙やり取りしちゃうダメみたいな制限あって
だから自分の知ってる受刑者とは関わることできないんですよ
それで考えてたら、最高裁じゃないけど二審ね
控訴審で一回実刑判決が下りて、刑が重いとして控訴する人を選んで
その法廷に行って、名前も持ってきてその方達に渡して
今度こういう活動したいんで、必要ありませんか？って送ったら
まあ自分で3000冊くらい本持ってるし、既にその時点で2000冊くらい別の方から
もらって
5000冊あるから、タダで送りますって
で受刑者の方は「タダで本もらえるんだったら、じゃあ入会してやるからこれこれ本を送
ってこい」って言われて
5000冊の中でもその人が欲しい本が必ずあるわけじゃないから
「ああ、これは困ったな」と「じゃあちょっとやり方変えなきゃ」と思って
今度は一応パソコンはできるんですけど、あんまり早くないんですよね入力が

だけど5000冊本あるから、それを夜パチパチパチパチって本のタイトルを入力して
最初手動で

手動でずっとやったら

であいうえお順に並べたり、なんか自分なりに工夫したんだけど全然ダメで
すごい効率悪くてね

でそれを入会した3人、5人に送ったら喜ばれて

「じゃあ今月この本をください」って言って

でそれを送って、だから文通はあの時点でやってなくてね

だけど向こうから不審がられるじゃん「その本をタダで送って、汪さんいくら儲かるんで
すか？」みたいな「目的は何ですか？」って

「いや、更正支援したいだけですよ」って言って

「ん？」ってやっぱり通じなくて

でそれで団体立ち上げた時に、副代表について就任したシスターが

「この活動ね、定義としてはまず第一号は更生させなくちゃいけないのは汪さん、あなた
だよ」って

「あ、そうですね」って

「であなたを更生させながら、私たち一緒にお手伝いして」

「その経験を活かして、他の人も更生するきっかけができれば」って

「あ、そっか」って団体作るのに設立出資から何もないんだよなって

もう一回勉強して土台を作り始めたんですね

本を送るだけだったんですけど、本のリスト作るの遅くて

初め500冊くらいのリストしかなくて「他に本ないんですか」とか

でAmazonで本買えるのは知って、まあ自分が資料、読みたい本をAmazonで買ってたん
ですけど

Amazonで本を買って送るっていう発想はなくて

そしたら受刑者の方が「相談なんですけど、刑務所で本は定価で売ってるから高くて私は
買えません」と

「汪さん、代わりにAmazonで買ってきてもらえないですか？」って

「前金でちゃんとお金払いますから」って言って

「あ、そっか」って言って俺もパソコンやってるしあれだから「いいよ」って言って引き
受け始めたら

始めは対応早いですよ、すぐ送り返したらなんかそこで

やっぱり刑務所の中で同じ部屋だと5人、10人の部屋だと他の人に来た手紙読んだりす
るんですね

で真っ先に、最初にうちに入会した人が「この団体、この本だったらタダでくれるよ」っ
て周りに回したら「いや、大したことないな」って言ってて

やっぱ自分が読む本は硬いから「そんな硬い本嫌です」って言う人で入会はそんなに多くなかったんですけど

Amazon で注文して、購入代行やってくれて言われてそのように送ったらすごい喜ばれて

そしたらそれを真似して「俺も Amazon で本買ってきて」っていう依頼が増えたんですよ増えて「いや、なんか趣旨とちよっと違うな」って

でそこで会議が始まって、こういう本を依頼してね、今抱えてる5000冊はまあそんな悪い本はないからいいんですけど

これ Amazon で注文してこいって言うから

結構犯罪まがいの依頼が来たらどうしようとか

神さまに感謝する手紙、宗教的な部分、信仰心の本だけに限定するのか

あるいはヘイトスピーチ、ヘイト的な本をやっぱ良くないですか？みたいな

その会議重ねて、その頃自分は日本国憲法学んでたら

まあ思想の自由っていうことで、全ての本はオッケーと

反日でも反中でもオッケー、ただ犯罪は良くないよねって

まあ、そういうのはダメだっていうルールを作ってやったんですよ

そしたら「この本今いくらで買えますかね」みたいな

調べてくれて言われて

それを初め調べて送ってたら

まあ自分が中にいる時に、くだらないこと競馬知りたいとか

この難しい病名が何？って支援者に送って調べてもらって、中で勉強する助けになったんですよ

だからそれをぜひ提供したいから、その少ない10人くらいの会員に

もし学習する上で必要あれば、ネットで調べたりしますし

あれしますよっていうサービスをサポートの方法入れたらそっちも人気出て

インターネット検索ですね

インターネット検索

それで会員が増え始めたんですよ

だけど実際のスタッフ数が、まあうちは田中代表がいらっしやって

井出シスター副代表がいらっしやって

で自分が事務局長としてやって

でその常勤スタッフは自分ともう1人のけいこさんっていう女性がいますけど

結構労働量で言うと、毎日このけいこさんっていう人は毎日10時間くらい労働してたんですよ

で自分は務めてるし、休みの日でも10時間くらいで

どうしても溜まったら13時間だけど

偏りがあるんですよ、どうしても事務所にある本をこう入力しなきゃいけないから江戸川区に事務所あるのに、代表の田中さんは三鷹に住んでて月に何回も来れないし副代表のシスターが横浜に住んでるから、ご高齢だしそんなに来れないから事務所もすごい事務量がキャパオーバーで、それでどうしようって考えたのは本をね、この背表紙、本を並べた状態で背表紙で写真撮って周りで協力してくれる人いませんか？って呼びかけたら入力してくれてエクセルでメールでくれる人がいて講演会やったりして、今こういう活動やってますって、こう思ってますって言ってたら提案されたんですよ

「汪さん、世の中にはバーコードっていう、バーコードリーダーっていう大変便利な物があります」って言って

「あ、そうですね。コンビニでピーピーやるやつですよ？」って

「でそれで読み取ればいいですよ」って言われて

「バーコード読み込んで、その先はどうしたらいいんですか？」って

「調べてきました」って「フリーソフトで、バーコードで読み取った ISBN コードを自動的に Amazon のサーバーにかけて検索して、本のタイトル、著者とかページ数全部出ますよ」って言って

「あ、こんな便利な物あるんだ！」って

でその杉並区の組員の方が教えてくれたんですよ

でじゃあ活動を応援するから、バーコードリーダー買いますって、プレゼントしますってそれでやり始めたら、今度本でバーコードついてないのがいっぱいあってだけど同じことですよ、バーコード読めなくても ISBN コード打ち込んだらできるようになって、すごい便利で一気に本のリストが充実し始めたんですけど

ちょっとうちが悪いのか分からないんですけど、結局そのフリーソフトを開発した方がその Amazon のデータベースを使ってるから、要は Amazon で買い物してない人がフリーソフト使ってバンバンアクセスするからサーバーに無駄な負担掛かっちゃってでそのソフトがダメになったんですよ

「いや、困ったな。また手打ちの時代に戻るのか」と思ったら

その時に誰が調べたんだろう

国立図書館のデータベースはアクセスしてもサーバーに負担掛かないし

でそこに公開してるフリーソフトありますよって言われて

で今それを使って結構簡単にリスト化できるようになってます

半年前まではね、事務所に多分2万冊常置あるんですよ

で2年前に郵便局が郵便料金改正して、送料が高くなっちゃって

グラム数と厚さで一概に言えないんですけど

分厚い3センチ以上の本を送るのは実質上4倍くらい値上がりしたんですよ

で送ると予算圧迫するんで、送れなくなって
どうしようと思って、で今度本のリストを作るのが割と簡単になったから
じゃあ分厚い本を全部1階の棚から下げて、2階に上げて
で送料の安い薄い本をリストを作り直して、でやり始めて
そしたらこの大量に余った本をどうしようって悩んで
で今ちょっとテレビ出たりして、知名度上がって本の寄付が大変多くなったから
まあこの本たち、過去の5年間で
あんまり出なかった
出なかった本だから、まあこれを全部ブックオフとかで売却しちゃおうって
1冊3円、5円の平均ね、そんなもんですけど場所作った方が
それで今2階の方は結構スペース空いて
で元々結婚前はその事務所の2階に住んでたんですけど
今結婚して、あそこ2人は住めないから
で近くに引っ越したので、で今のその事務所の2階は出所してきた人
あるいはDVを受けた被害女性を保護したりとか
ホームレスが来たら泊まったりする、今そういう風に使ってます

会員は、まあもう活動して6年目ですから
今まで何人くらいの方サポートしてきたんですか？
累積で約500人ですね
500人、で本は何冊くらい送ってきたんですか？
いや、正確なあれは分かんないですね
今まで発表してる数っていうのは、郵送する際にクレジットカード決済でその金額で回数
割り出して、で1回大体3冊だから
年間で3000冊？くらいですね
で今実際に多分幽霊会員いっぱいいて
まあ、出所したら教えてくれないから
今まで累積で約500人支援して
今は多分日常的にやり取りして、サポートしてるのは200人ですね
うちの会員は内部会員と外部会員って分けて
その総称をかえるメイトって呼んでるんですけど
外部会員はいわゆる支援する方達ですね
内部会員っていうのは塀の中にいる人で
受刑者会員を内部会員って呼んで
で第1部会員、2部会員、3部会員って

で1部会員はお金が無くて年会費払えませんっていう人
だけど本を読みたいと、そういう人に対しては無償で年間で12冊プレゼントしてるんで
すけど
だけど実際には12冊は入会時の約束で12冊であって
実際は多分もっと送ってるんですよ
それは作った本リストの中から選んでもらって
そうです
リストから選んでもらって、例えば池上正太郎が好きだったら
そうすると、リストをリスト化するの結構面倒くさいんですよバーコードあるにしても
だから寄付されてそこに積んでるやつを、何冊入れて
好みであろうっていう本も送ってるんですよ
で2部会員っていうのは、フルサポートの会員で
年会費が2000円なんですけど
その人たちに対しては無償本も12冊までは送って
でそれ以降12冊以上欲しい人は
1冊に対して100円の送料は負担してくださいねってお願いしてて
でインターネットの検索と、写真プリントを結構依頼されるんですよね
あとはまあ、色々依頼されるんですよね
困るのはSNSで元カノ探して欲しいとか
音信普通になってる子供を探して欲しいとかそういうのもやっていますね
2部会員は色々やっています、文通もやって相談事も受けます
で今度うちは更正支援団体ですけど
手紙で「俺更生したくもないんですけど」って
「そんな能書きいらないから」
「俺はただ安く本が手に入れば良い」っていう人もいるから
まあ、そういう人は別に「まあ、それでもいいですよ」って
っていうのは団体活動する上で活動費常に不足して
どっかで確保しなきゃいけないから
だからそういう意味で3部会員はAmazonで本購入だけ代行をやっていますって
でそれ、本の購入代行に対しては元々1円の本を想定してたんですよ
でAmazonの送料が257円だったんですよね
でやっぱり人も関わるし、ネット回線とかプライム会員費も払わなきゃいけないから3
0%の手数料頂いてるんですよね
で1円の本と257円の送料で
70円くらいの手数料を寄付っていう形で受け取ってそれを運営費にしたんですよね
だけどだんだん、やっぱり結構高額の本買う人もいますよ

で日本の刑務所って変なルールあって
1回の郵送差入は3冊までとか5冊までっていう
ほとんどが3冊、5冊とか限定されてて
そうすると Amazon で例えば漫画全巻50巻くらい買ったなら
Amazon から全部いっぺんに送られると、受刑者受け取れないんですよ
その為にはうちの事務局に送ってもらって、それを分けて
郵送して、そうそうそう
受け取れる分ずつ
その本の転送費は頂いてます
でそれが年間でいくらくらいですかね
まあ、決算報告は出てるんですけど
そういうその、受刑者からもらってる手数料的な寄付は5万とか
今はもうちょっと増えてるんですかね
頂いてそれを運営費にしています

自分が刑務所にいる時に感じたのは
「出たら真面目になります」って言う中ではなんかナメられちゃうから
「あ、なんだお前足洗うんか？」って
だから足洗いたくても言えない環境に置かれてるんだよね
で刑務所の中でまた更正するプログラムで何かある訳じゃないから
だから更正を考えるきっかけもないし
そんなダラダラ1日1日過ごせばいいっていう考えの人多いんですけど
だけど中で受刑者同士で会話してて
「俺たちの人生こんなんでもいいのかな」って
「出たらまた悪いことして、また捕まってさ」って考えで
まあ実は、ちょっと話せばみんな真面目にやりたいわけじゃん
で自分自身も受刑経験あって
まあ、犯罪は悪いんだろうけど
何て言うのかな、犯罪を職業的にやってるわけだから
その罪悪心ってそんなにないわけですよ、正直に言うと
だけど子供に聞かれて「パパ仕事何？」って
「泥棒やっています」って「マフィアやっています」「ヤクザやっています」って言えないじゃな
いですか
だから言えないっていうことはやっぱりみっともないことしてんだなって
でだから自分も外に出る時に、人生考えて

「これからどう生きようかな」みたいな考えてたから
まあ今、更正支援やってるけど受刑者に対して更正しろとは言わずに
「これから人生どうする？」って「どう生きる？」「何の仕事する？」っていう質問はする
でそういう相談あれば、相談に乗るみたいなですね

今、月何人くらいの方と文通をされてるんですか？
今は神奈川支部の庄子さんの方が常勤スタッフで
その人がかなり出してるんですよ
彼女の方で1日2、3通くらい出してるんですかね
処理すること、必要なことがいっぱいあって
自分の方は今どれくらいですかね、週...
すごい長いのは、多分今数は全然
長い手紙を書きます
今この
この支援してると面識のない受刑者を「あの子」とか呼んでるんですけど
「あの子は最近ちょっと弱ってるから、汪さんに話聞いてほしくて」って
そうすると、まあその人の手紙を読み直して
ちょっと深い手紙を
書いてあげる
何ページ、2、3000文字書いたりして送ってるんですよ
受刑者は今何を求めているんだろうね
社会から孤立してて
で犯罪に走ったから、家族と疎遠になるし
また昔の仲間と連絡取ったら、また犯罪になるし
だから意図的に、その関係を経つし、本人はね
で一方では刑務所は他の外の家族以外の連絡取らせたくないし
だからすごい孤立してて
ほんにかえるプロジェクトはその孤立を助けて、人生のリスタートを支援したいわけだから
まあ、そういう活動をして
できるだけ寄り添う、接点を作ってあげる
社会との接点を作る

まあ、お金の持ち逃げ

まあ、テレビや新聞でも出てて
出所して来たらスタッフで「私もボランティアやります」
「やりたいです」って言って来てまあ、機会をうかがって
色々持ってっっちゃう
持ってっっちゃうんですよね
過去で最高で多分200何十万盗まれてますね
トータルで？
トータル
あ、その1回で
1人で
うん
当時、自分と今結婚してる奥さんと事務所の2階に住んでて
で、その1階に出所してきた子を1人住まわせてたんですけど
その、だから活動費がないから奥さんの方が50万寄付して
「よし、これで半年持ちます」みたいな喜んでたら
まあ、奥さんは元々水商売やってて
時計とか自分にご褒美で買うんですよね
で高級時計と数十万、10万、20万の時計とか
まあ、現金もあってそれを盗まれて
会の活動のメインの口座が事務局長だから、管理してて
だけど引き出す必要がないんですよ
っていうのはうちよだから、郵便局も後払いの利用してて
基本的に寄付されたお金を受けて、入金口座で
で支払いは全部郵送費のゆうメールの契約で引き落とされるだけで
年度末に会計計算するだけだから、普段口座使わないんですよね
で普段自分でお金、常に団体赤字だからこういう予算があるわけじゃなくて
自分でたとえばボールペンなくなったら、ボールペン買ってきて
領収書取っというて、年度末に会計担当にこのくらい使いましたって計算するんだけど
ある日なんか、郵送費が引き落とされないんで、送れない事に気づいたんですよ
「はあ？」と思って
分からないうちに
口座をそうそう
うちの口座は大体、貧乏団体だから
最高でも5、60万しか入ってないんですよ
それなのに見たら、残高200円になってて
しかも行ったこともない土地の窓口で引き出されてるんですよ

盗まれて

分からないようにやるのは汪楠さんの手口だったのにね

今それをやられてます

やられた

で会員が、いろんな会員いて寸借詐欺じゃないですけど

手紙で「本買ってください」って「82円切手を10枚送りました」って言って

で来週になったら「やっぱりいいです」って「80円切手を返してください」って言う人
いるんですよ

そういう人って、手紙開封して切手10枚入ってて

はずが、開封したら7枚、8枚しか

で来週には返してください、10枚で返せって

こういう詐欺があります、多い！

それで、まあ大した金額じゃないですけど

だから今事務所はこういうカメラ付けて

でそこで封筒開封して、全部サーバーに間違えないように

間違えないように

それをあと切手で家族以外にお金送っちゃダメっていうルール of 刑務所もあるから

本とか、やっぱ本の送料で切手を送って来るので

うちの通貨が切手なんですよ

その切手を使用済みの切手を、まあ多分水に濡らしてはがしてうちに送ってくる奴が
いっぱいいるんですよ

それは目を光らせてないと

そうそう

だからそういう場合は、まあ笑ってスタッフが

送ってきた人の名前分かりますから、まあ記録に残りますよね

「Aさんがやりました」ってだけその分は問い詰めたりせずに

まあ、使用済みだから避けてその分はスタッフが自腹切って

補填してる

補填してるんですよ

その団体を設立した時に先輩方に言われたんですよ

「受刑者の更正支援やると、訴訟起こされて一人前」って言われて

訴訟って悪い事しなければ、訴訟起こされないじゃないですか

って思い込んでたら、訴訟起こされました

あ、そうなのね

訴訟っていうか被害届出されて

当時ネット検索で1枚10円で寄付頂いてるんですよ、紙代として

でそれを「こういうこと調べてください」って
「30枚印刷以内に収めてください」って言って
30枚印刷して、受刑者に送ったんですよ
「30枚として300円だから、預かってるお金から引きますね」って言って
そしたら「その内、俺見たいの10枚しかないから」
「残り20枚は搾取された」と
で警察署に訴えられて
本人が見たい情報かどうかっていうのは判断のしようがないんですよ
だからもしね、納得してないから
それだったら私、通常だったらうちのそういう場合は
「じゃあお金300円全部返却しますよ」
「その代わりもう退会してください」ってやってるんですけど
いきなり被害届出して、警察署に
大分刑務所の方ですけど、大分検察庁から電話来て
「汪さん、詐欺事件としてこういうの来てますよ」って言って
「いや、うちは…」って言って
「ああ…どうぞ」って話してたらもう検事さんが笑ってて
「えっとね、正直に言うと同じ人からいっぱい訴訟が来てます」
「提訴、被害届が出てます」
「これでまあ、こういう人だね」って「理解してますから、汪さんの反論ももちろん書類
上、書面で頂けたらありがたいんですけど」
「提案なんですけど、汪さん営業妨害で訴えたら多分こいつ刑増えますよ？」って言って
「いやいやいや、更正支援団体が相手も真面目になって欲しいから刑増やすような事した
くない」って言って
1回、2回あったんですよ
1回は200円で、あと2回が80何円の
民事だったらこれ、示談で成立しちゃうじゃん
スタッフが反論する証拠、書面作ったりして時間のロスだから
それだったらスタッフ誰か80円出すんですけど
ね、刑事事件で告訴されると、警察も真剣にやらなきゃいけないし
で毎回その警察から電話来ると
で警察毎回笑ってるんですよ「いや、こいつまたやっとなるわ」って言って
今うちの会員は結構真面目ですね
まあ、やっぱり6年間やってこっちもルール確立して
1ヶ月ネット検索は2件までと
例えば「コロナについて調べて」って

その時に情報をねウィキペディアで「何枚まで印刷しますか？」っていうのをやって
2件までは結構みんな真面目にルール守ってて
で買いたい本が、刑務所に売ってる本は定価で売っててしかも新しい物しか売ってないか
ら
で変なんですよ、上中下で注文して
下だけ来て、あるいは中だけで来て
順番構わず
構わずに
で5冊、6冊とか枠が決まってて、1ヶ月6冊しか買えませんよって
6冊じゃ持たないんですよ
楽しみで、申し込んでから3か月後に来るから
3か月間楽しみだったのに本が来ないって
汪楠さんのところに頼んだらどのくらいで届くんですか？
長くて3ヶ月って言ってるけど、今は多分1ヶ月、2、3週間で対応してますね
追いついたから
みんながルールを守ればそんなに大変なことじゃないですよ
定価で買えない人は、やっぱ中古で買ってきて欲しいって言うのも
あるいは過去の作品も、まあ今本屋に置いてないから探して欲しいって
その本に関連する検索は20冊分まではオッケーです
でフォームもらって、そこにタイトル、著者名書いてもらって
でスタッフが1個1個 Amazon で調べて、最安値を記入してそれを本人に返してるん
ですよ
でそれを本人はそれを参考にして、今度検索して132円の本を
まあちよと余裕持たせてよって言って、でそういう人は132円のところを140円とか
以内だったら買いますって来るから
そのやり取り
そう
前はやりやすかったの、Amazon が送料固定してたから257円だから
去年だか自由化になっちゃって、本1円だけど送料900円の変な話生まれて
だから今送料と本体、トータルのあれを基準にして判断してやってるんですよ

嬉しいのは、すごい元々働きながらこの団体やっててどんどん会員数が増えちゃって、働
く時間がなくなっちゃって
生活が1回崩壊したんですよ、食べ物もないと
でその時にフードバンクっていうホームレスの配るところに行ってもらって食べたりして

だけど手紙、活動を続けたいじゃないですか
何百人会員抱えてて文通してるから
その手紙の中に「今困ってね」って「活動費がないから皆さんあと1ヶ月待ってください」
と
「稼いだら送料払えるから、本を送ります」って手紙出したら
「汪さん、靴ありますか？」って
そしたら受刑者からね「私あと10年釈放されないからね、私の靴あげるよ」ってくれたり
「服をね、知り合いが送って来てサイズ合わないから」
「もうこれから10年も使わないから、多分カビだらけになるだろうし」
「汪さん良かったら使ってください」って
それ嬉しいですよ
あとやっぱり手紙やり取りしてて、すごいその人の人生に触れるわけだから
少しずつ、受刑者会員が心開いてくるのが分かるんですよ
何回かのやり取りで
そうそう、そうですよね
そういうのは嬉しいですよ

まず実際に、同じ刑務所で受刑してる連中はみんな驚いてて
驚いてる？
そう
中にいた汪くんがちょっと行儀が悪すぎて
喧嘩に明け暮れてて、エロ本も読んで
エロ本読んでるか、難しい人生哲学読んでるか、心理学みたいの読んで
でいじめるその大名主に反発してしょっちゅう喧嘩してて
懲罰ばかり行ってる汪さんが、まさか出たら
こんなことやってる
やってて
てっきり怒羅権戻ってまた犯罪に関わってるって思ったっていう声は多いですね
今うちが支援してる会員ってほとんど面識がないから
結構汪さんの写真送ってくださいって、どういうイメージで手紙
顔が分かるイメージしながら書きやすいっていう声
でうち機関誌出して、結構真面目に書いてるのね
そこに真面目過ぎる自分がちょっと違和感あって
だから非公式でこっそり違う、裏のバージョンの会報を作って受刑者に送って

まあ事務局長だから「俺のこと局長様って呼べ」とか
「局長様って呼んだらエロ本送ります」みたいな
そんなのやって、そのシャバの面白い話を書いたり
酒飲んで喧嘩しましたとか
まだそんなことやってる
まだそんなことやってるみたいな
だから受刑者は結構親近感あるみたいですよ
なんか「俺出たら汪さんよりは真面目になりそう」とか
結構コミュニケーションはちゃんと取れてるから
今回また本出したし、その前にフジテレビの「ザ・ノンフィクション」に出たんですよ
でその時に刑務所でも、何時かな、5時から9時までの間に
集団性の部屋とかあるいは模範囚だったらテレビ見れる時間があるんですよ
それを見た人がかなりいて
中で
はい
あるいは刑務所によってはまあ、教育的な感じで
わざわざ
汪楠さんのを
そうそう、放映っていうか流してくれた人も刑務所もあるみたいで
それを見て「いやー」って手紙いっぱい来て
まあ、いろんなコメント来たんですけどね
お金盗んだ奴を捕まえた時に、目の前がガラスの灰皿だから
「多分汪さん、殴るんだろう」って
みんな「ハラハラドキドキして見ました」とかそういうのもあって
なんか汪さんの顔がどういふのか分かって、しかも昔超ワルだったっていうのは聞いて「す
ごい尊敬してます」みたいな手紙いっぱい来るんだよね
今回本出したから、またちょっと武勇伝的なんじゃないかって批判されたこともあるん
ですけど
まあそれも自分の人生の一部だし
そういうのを受刑者に見せたいんですよ
俺ら元々ねワルしてて、クソヤンキーで
でもちょっと変われば、自分が変わる必要があるから
変わっちゃえば結構楽しいですよって
安い発泡酒でも美味しいしみたいな
そういうメッセージを発信し続けてる

ほんにかえるプロジェクトは6年間活動してきて
常に中にいるうちに文通したり、本を、読書を勧めたりっていうのがメインの活動ですけど
ど
やっぱりいずれ出所してくるんで、その出所後に住むところもないから
そういう相談多くて、まあ今とりあえず生活保護って申請したりして一緒に同行するんですけど
まあ地元結構協力してもらってるんですよ、役所から警察とか
あと仕事がないとやっぱり、働かない奴はもう飯食えないから
それで無理して犯罪やっちゃうと捕まっちゃうんだよね
だからそういう相談大変多いけど、今までは知り合いの不動産屋にお願いしたり建設業に
頼んだりして
だけど仕事紹介したのはいいけど、すぐ逃げちゃって
協力してくれる会社が被害大きいんですよ
建築業の腰袋だの何だのって何万円もするんですよ
1人の為に用意したのに、そいつ逃げたら無駄になっちゃうんで
そうするとその紹介した社長とこっちの関係がちょっとおかしくなるんですよ
だからあんまりやりたくないんですよ、出所後の支援は
だけどそれでどうしたらいいかなって
でだからうちはそれはやってませんって受刑者会員に言ってるんですけど
実際外出てきたら、まあこっそり個人的にやってるんですよ
で今刑務所出てきた人間を、まあ、というのは一定の条件があるんですけど
雇用主で雇った場合は国から補助金が出るんですよ
そうするとその補助金で逃げた場合の損失を補填できるんですね
それを今後は、まあそういう制度があるんだったら
仕事紹介しても逃げても、会社側の被害が小さいからまあできるかなと思って
年内に就労支援と居住地の住む家を世話するっていうか一緒に探すのもやりたいんですよ
ね
出てから肝心ですけど、中で読書とか通じたり、考え方を覚えてもらって
で出たら実践してもらおうっていうのは、やっぱりここまでやらないと更正支援にならないから
ちょっと後半の出所後は意図的に避けてたんですけど
まあ今後それはやりますね
ただ今一番危惧してるのは建設業の習慣で、人を紹介して入れた場合はバックマージンをも
もらえるんですよ
それをやりだしたら、汪さんそれで儲かってるっていう批判が必ず出ますから

まあそこはずっとやりたくない原因になってるんですよ
日本ってボランティアに対しての理解すごい浅いんですよ
だから受刑者から、結構初期の時ねテレビとか出る前は
「会費取って、国から補助金もらってこの対応か！」みたいな
「さっさとやれよ！」って言われること多かったんですけど
まあ会報であちこちとか、サポートしてる会員が増えるとロコミで「ここはもうこんなに
大変で、貧乏で」ってとかだと今理解され始めたから
そんな苦情みたいなこともなくなった
そうですね、はい
だから新規の会員は分からないですよ
やっぱりまあ「ボランティアだと寄付金いっぱいもらってやってるんだから、良い人のふりしてんだろ」っていう批判は常にあるんですよ
そういう時は、まあうちの会報読んでもらって
入会ちょっと待ってもらって
でだけど実質ロコミだけで広がってるから
入会するのに
そうですね
例えば宮城県の、仙台の宮城刑務所だけでも
うちの会員が多分100人以上いるから
そうすると自然とうちの評判っていうか、実態は知られてるから
だから刑務所名で大体安心して入会させられるかってっていうのは分かるんですよ
初めての刑務所だとやっぱりね困りますね
多分色々誤解されるから
そういう時は、そちらの刑務所の内規でルール分からないから
どこまでできるか分かりませんよって
そちらのいる刑務所のルール確認の上再度申し込んでくださいってちょっと
でそれでも本人入会したい時は会報のバックナンバー全部送って
こういう風に活動してきて、こういう苦労しましたって理解していただいた上で入会
してもらっていう
そうですね
やっぱ変わってる人多いから
自分含めて
含めて、そうですね